

## 平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

### 【1. 施策名】

施策コード	522-01	基本施策	中山間地域の農業振興	所管部局	農林部
施策名	中山間地域の特性をいかした農業の振興			主担当課	農業政策課
施策の目標	中山間地域の農産物や特産品の生産・販売を促進するとともに、耕作意欲の低下につながる野生鳥獣による農作物被害を防止し、国土や水源の保全の面からも中山間地域の農業振興を図ります。				

### 【2. 施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など

中山間地域は、平地に比べ地形的要因により作付け条件が悪く生産性も低い。また、高齢化、過疎化、農業後継者不足、野生鳥獣被害による農作物被害が拡大し、農地の荒廃化が進み、国土保全機能や水源保全機能も低下している。

### 【3. 施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実 績					目標値 (H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
中山間地域で遊休荒廃農地から農地に復元した面積（累計）	h a	44	55.8	59.5	/	/	/	74
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
中山間地域に存する荒廃農地を復元した面積	荒廃農地を復元することにより、中山間地域農業の活性化を目指す。							
施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実 績					目標値 (H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
25年度の取組内容実績	中山間地域等直接支払制度では、137集落が協定締結し、協定面積は横ばいである。農地復元及び優良種苗の導入については、地区遊休農地活性化委員会（協議会）が主体的に活動し、荒廃地の解消と適作指導を実施した。また、野生鳥獣被害防止対策については、若穂山新田区において、国庫補助事業を活用し、地域一帯を囲む電気柵を3.2kmにわたって設置した。							

### 【4. 総合評価】

総合評価（目標値に向けて）	順調
評価の理由・説明等	
<b>適応性</b> 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	中山間地域の農業者を対象に、高齢化、人口減少などによる、耕作放棄地の割合の増加を防ぐため必要とされるニーズを把握し、支援を行うことで、生産意欲減退の軽減を行っている。
<b>達成度</b> 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	中山間地域等直接支払制度では、137集落が協定締結し、協定面積は横ばいであり、協定地区内では、農業生産活動が維持され荒廃地が増加していない。野生鳥獣被害防除対策事業補助では、イノシシ・シカの捕獲頭数が昨年度よりもさらに増加し、農作物被害がH24年度と比較して、約4,500千円減少しており、被害の軽減が図られた。
<b>事業の成果等</b> 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	国の中山間地域等直接支払事業、野生鳥獣防除対策事業、市単の優良農地復元事業を取り組むことにより、農地保全が図られ、農地の荒廃化が抑制され、国土保全機能及び水源保全機能が地道であるが図られつつある。

【5. 今後の展開】

課 題		課題解決に向けた具体的な取組
1	農業の生産条件が厳しい中山間地域では、高齢化や人口減少などにより荒廃地の割合が増加しており、地域農業が衰退している。	中山間地域等直接支払制度を中心に、生産条件の厳しい中山間地域の支援を実施し、地域農業の活性化を図る。
2	野生鳥獣による農作物への被害が深刻化しており、農業者が個々に対応するには限界がある。	野生鳥獣被害防止対策は地域ぐるみで実施することが効果的であるので、地区の有害鳥獣対策協議会（委員会）又は農業協同組合が実施する、野生鳥獣被害防止対策活動に対して補助を行う
施策展開の方向性 (H26年度以降)	中山間地域の農業と農村の活動を支援し、農地や集落の維持に加え、中山間地域が有する環境や防災などの多面的な機能の保持を図る。また、各地区の遊休農地活性化委員会（協議会）が主体的に活動し、荒廃農地を復元し、地域に適した農作物を栽培することにより地域農業の活性化を目指す。さらに、有害鳥獣対策協議会（委員会）又は、農業協同組合が補助事業を活用することで野生鳥獣被害の防止を目指す。	

【6. 施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 [事業区分] 担当課名	事務事業の状況									
1	中山間地域等直接支払制度 [補助金・金銭給付事業] 農業政策課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		国及び県で指定した中山間地域内の、1 ha以上の傾斜地を対象に、集落協定を結んだ集落及び協定に参加する農業者に対して国の基準に基づき交付金を交付する。					協定面積 630.8ha				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	B	A	A	B	B	継続	106,661	107,062	107,667	108,813	
2	中山間地域農業対策事業補助金 [補助金・金銭給付事業] 農業政策課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		中山間地域に存する遊休農地を復元し、地域農業の活性化を推進するため、中山間地域の遊休農地活性化委員会などが実施する事業に対して補助を行う。					優良農地復元事業の面積 122 a 実験農場運営事業の面積 29 a				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	B	A	A	A	B	継続	4,636	2,597	2,743	4,332	
3	山村畑作地域活性化事業補助金 [補助金・金銭給付事業] 農業政策課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		生産性の低い山村畑作地域の活性化を図るため、農協その他農業者の組織する団体が実施する優良種苗導入事業に対して補助を行う。					優良種苗導入数 220,616本 導入実施地区数 13地区				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	B	A	B	A	A	継続	5,966	5,780	5,567	6,698	
4	野生鳥獣被害防除対策事業補助 [補助金・金銭給付事業] 農業政策課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		野生鳥獣による農作物被害は農家の生産意欲の減退を招き、中山間地域住民の生活に深刻な影響を及ぼしている。このため、地域の実情に合った野生鳥獣被害対策を実施し、地域ぐるみでの自律的な被害対策を構築する。					電気・防護柵550箇所、檻・罠194基、駆除・個体数調整（猪796頭、鹿330頭、猿46頭）、若穂山新田区侵入防止電気柵整備事業（国庫事業、L=3.200m）				
		事業の分析結果					年度別事業費（千円） (H26は予算額)				
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	A	A	A	A	A	継続	89,116	100,850	86,961	69,032	

